

話題あれこれ

厚木市の文化財一般公開

荻野神社県指定重要文化財に

10月31日から11月2日までの3

日間「あつぎの文化財一般公開

「荻野神社と古民家岸邸」が行

われました。

荻野神社はかつては荻野村三村の鎮守でした。自然石を御神体とし、石神社とも呼ばれていました。本殿は、市指定有形文化財でした

が、今年3月28日、県指定重要文化財に指定されました。県内で最も最大規模の社殿であり、建物細部の彫刻も豪華である点が高く評価されました。貞享4年(1687)に飯山村の宮大工集団が建設しました。その内容を示す古文書も多く発見されています。



イチヨウの古木を見上げる栗山議員

文化会館にキッチンカー

沢諭吉記念館へ向かう寺町の道で見かけた看板。

11月3日文化の日に市内を宣伝しました。トイレ休憩に寄った文化会館で、正面玄関広場のあふれ池の前にキッチンカーが2台。ちょうどいい昼食タイム。たこ焼きやホルモン焼きそば、カップに入つた一口フレンチトーストなどをいたきました。秋晴れの中、戸外で食べる解放感。なかなかいいものでした。



文化会館では4階にあったレス

トランが2回にわたって閉鎖。今

はフリースペースとして文化会館

利用者が有効に使っています。し

かし「食事を

したい」という要望を受けて文

化会館で「キッチンカー」の派遣

が実現したそうです。

イベントに合わせるので、毎日

ではありません。」注意を。

一家は習慣の学校なり

父母は習慣の教師なり

10月29日、大分県中津市で、福

書籍紹介

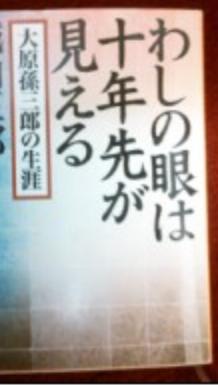
会社は労働者と資本家が共にそこで働き、利益を得る場所 経営者・大原孫三郎の思想

今年の夏、研修視察で岡山県に行きました。宿泊したのは倉敷市のアイビースクエアホテル、倉敷紡績の工場をホテルに改修したものです。有名な大原美術館をつくったの

が倉敷紡績の社長であった大原孫三郎です。その生涯を描いたのが城山三郎の「わたしの眼は十年先が見える 大原孫三郎の生涯」です。

大原孫三郎が手掛けたのは美術館だけではありません。労働者のために病院を建設し、さらに社会科学研究所、農業科学研究所などをつくり、孤児院への土地や資金の援助も惜しみませんでした。

当時の労働者は「女工袁史」「ああ、野麦峠」でもわかるように劣悪な労働環境で働かされていました。孫三郎が27歳で社長になって最初の年に8万円の増益が出ましたが、役員賞与や株の配当を増やす



大原孫三郎の生涯

(釘丸久子)

市議会の第6回議会報告会

- 11月11日(火) 19時～ 厚木南公民館 (総務企画常任委員会)
- 11月13日(木) 19時～ 南毛利公民館 (市民福祉常任委員会)
- 11月15日(土) 10時～ 厚木北公民館 (環境教育常任委員会)
- 11月15日(土) 14時～ 睦合南公民館 (都市経済常任委員会)



11月の法律相談
11月19日(水) 13時
前日迄の連絡を!

